

# Japa Newsletter (毎月1日発行)

～社会課題 X イノベーション X 地方創生～



## INDEX

1. コラム「論点提起」：地方の独自性（自立・自律）を引き出せるや如何
2. 寄稿：「何でも見てやろう(小田実著)」に啓発され片道切符で海外に飛び立った男  
[山田 廣信 (株Cosmo Link 取締役)]
3. 解説：都市を探る スマートシティ-アジア・太平洋における事例4 メルボルン  
[小畑さいち Japa 理事]
4. 関連情報：「時代環境」「COVID-19」「地方創生」「社会的孤立・孤独」
5. 読者の声
6. 連携団体及び Japa からのご案内
7. つぶやき（編集後記に代えて）

注：担当執筆者名の記載のない項目は、編集発行人(芝原 靖典)による。

※ 本 Newsletter は Japa 日本専門家活動協会が毎月1日発行の会員及び関係者向けの newsletter です。  
3ヶ月後に当協会のHP <https://japa-fellowlink.wixsite.com/japa/newsletter> に公開しています。

## Japa 会員・連携団体 募集中！

Japa は、会員（個人）と連携団体の方々の参加と協働により活動しています。

入会（個人）及び連携団体の申込みをお待ちしています。

入会案内：<https://www.japa.fellowlink.jp/admission>

## 1. コラム「論点提起」：地方の独自性（自立・自律）を引き出せるや如何

地方の自立・自律が謳われて久しいが、地方交付金・補助金制度の下ではなかなか財政的自立は難しく、加えて、補助要綱に計画策定規定があり、自律した政策の打ち出しにも限界がある。調べによると、この3年間で市町村に対する計画策定を法律で規定している数が40近く増え、2021年2月時点で315となっているとのこと。また、全国知事会の事務局調べ（2019年）では、390件と報告されている。内閣府の2020年12月時点での調査では、市町村に要請されている計画数は全体で288あり、類型別では、「義務」112、「努力義務」50、「できる」127という内訳になっている。いずれにしても、日常の住民サービスをこなしながら、これだけの数の計画を策定する状況下で、地方の特性に応じた独自の政策を立案し実行することは難しいと思量される。

参考：【研究ノート】国法によって策定要請される自治体計画リスト 今井 照 自治総研通巻 515号 2021年9月号 <https://tinyurl.com/2yvpk4ob>

こうした中、規制を最小限にとどめ、地方の魅力を引き出し、地方活性化の核の一つと成長しているのが「道の駅」である。これは、高速道路のサービスエリアの一般道路版であるが、制度設計の当初から、道路区域及び隣接地に最低限の休憩施設（駐車場、トイレ）があればOKとしたことで、地方に受け入れやすく、当時の制度設計者の期待を上回るほどに普及した。この成功に触発されて、その後、「山の駅」「海の駅」「里の駅」「農の駅」「食の駅」等、類似の施設空間が出現している。当初の「自動車利用者用休憩機能」から、地域の特産物の「産直市場機能」が併設され、道の駅自体が目的地化してきた。そして、地域色豊かな形で多様化してきた。最近では、非常時の「防災拠点機能」も付加され始めている。まさに、地方の独自性が発揮されている。

道の駅と同じように、地方の独自性を引き出し拡大しているのが「ふるさと納税」である。令和5年度はついに1兆円を超えた。その過程で、制度設計について議論が起き、一部、見直し（募集適正基準、地場産品基準の改正）がされている。そして、いま議論になっているのが、令和6年10月1日からの適用が予定されている「寄附に伴いポイント等の付与を行う者を通じた募集を禁止すること」。地場産品基準の強化もされている。納税者が返礼品目当てとは言いながらも直接目的的にふるさと納税制度を利用することが、地方自治体に地域の独自性を反映した財源調達の可能性に気づかせ、自立に向けて覚醒をもたらし、交付金・補助金に縛られない地域活性化策の多様化をもたらしていることは大いに評価出来る。二地域居住の先駆け制度かもしれない。制度設計者（国）はもう少し地方自治体に任せ、逆に発展的支援を強化すべきではなかろうか。

参考：増田寛也元総務相、二地域居住者へ「第2住民票」提言 「国が促進なら公的な証明書必要」 2024/8/18 16:00 産経新聞 <https://tinyurl.com/27wmyc55>

道の駅はリアル空間での産直市場・交流・防災機能、ふるさと納税はバーチャル空間での産直市場機能・二地域居住機能と捉えるとそれらの融合・連携が次の展開として見えてくる。そこには、さらなる地方の独自性・多様性が期待される。地方を起点に取引される場、交流の場があれば、地域の独自資源をベースにした地域経済循環型化/サーキュラーエコノミー化へもつながる。

「国・東京栄えて地方減る」ではない地域独自性（自立・自律）のさらなる多様な展開や如何。

## 2. 寄稿：「何でも見てやろう(小田実著)」に啓発され片道切符で海外に飛び立った男 山田廣信 (株)Cosmo Link 取締役

1948年10月新潟県新発田市(城下町)に生まれる。

戦前、御用商人として上海に渡り、燃料商を営んだ祖父から上海時代の栄光の思い出話を幼い頃から聞かされ、「若者は海外に羽ばたけ!」と叱咤激励されて育つ。

やがて中学高学年になったころ、新発田城の近くにはルーテル教会があり、米国人宣教師夫人が英会話を教えていると知り、教室に通う。

教会で英語の絵本を貸し出しており、初めて嗅ぐ西洋特有の香り、またクリスマスには自宅に招かれ、夫人手作りの初めて味わうクリスマス料理に西洋の豊かさ文化を感じ、海外への憧れがますます膨らんでいく。

大学時代、「何でも見てやろう(小田実著)」を読み、海外留学を本気で目指すようになり(すでに就職の内定も得ていたが)、留学の可能性を探る。

- ① 第一目標は米国留学(コーネル大学)
- ② 第二目標は仏国(グルノーブル大学)

しかし、米国留学は多額の授業料がかかり、父に相談するも即座に却下!

一方、仏国留学はバカロレア取得者であれば比較的容易に入ることが出来、費用(授業料・食費)もかなり安いことが分かる。

早速滞在費用の一部を負担してくれそうなスポンサー探しを開始。

当時スキー同好会で競技スキーに励んでおり、たまたま先輩がスキー用具の輸入商社の役員をしておりダメもとで相談してみる。

同社は当時グルノーブル冬季オリンピック三冠王ジャンクロード・キリーが使用するスキー靴の輸入代理店で留学するなら仏国の連絡員として契約してもよいとのこと。そこで留学先をイゼール県にあるグルノーブル大学に定め application を提出、内定通知を受取る。

1972年春卒業後、就職先の内定を丁重にお断りし片道切符で渡仏。

初めての渡航も格安料金のソ連航空アエロフロートに乗り真夜中、パリの空港に到着。相乗りタクシードでホテルにたどり着くも真夜中。隣室から白装束の老婆に羽交い絞めに会う(実際は緊張から金縛りであった)。

グルノーブル大学では文学部に所属し、仏語習得の傍ら、スキー倶楽部にも所属。

夏はテニスとスキーの陸トレ、冬はスキー部主催のスキー合宿・ツアーに参加、仏国国内の殆どのスキー場を訪問。春にはモンブラン中腹のエグイデミディ(標高約4km)から約20kmの氷河を滑走。途中クレパスに落ちそうになるなど今思えば無謀ともいえる経験。

その間、契約先には欧州スキー業界の近況にレポートを定期的に提出、僅かながらの収入を得る。



1 年余滞在したころ、国際人となるには先ずは英語の習得が不可欠と思い、留学先を英国に移動。英国で年末を迎える頃、某日本商社が仏語のできる人材を探していることを知り急遽帰国。

採用試験を受け、大学院卒扱いで採用となり 1974 年 4 月商社マンとしてスタート。

配属は繊維部門で、ゆくゆくパリ駐在と思いきや想定外の「鉄鋼貿易！」最初の駐在地は仏語圏の「ここは地の果てアルジェリア！」、4 年半家族帯同で二度と体験できないような異文化に触れる。（仏蘭西映画：ジャンギャバン主演の「望郷」の世界）



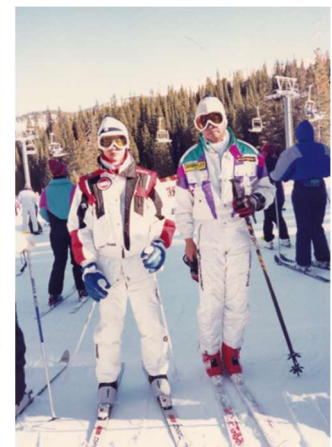
アルジェリア駐在員砂漠旅行

アルジェリア内陸工場訪問

帰国後 2 年足らずで米国ジョージア州アトランタ駐在を拝命！  
米国留学の夢を果たすと同時に家族ともども 6 年半の米国生活を満喫。



伊藤忠アトランタオフィス



コロラドデンバー  
スキー旅行

米国から帰国するにあたり、留学含め約 13 年の海外生活に孤独感と家族の将来も考え、国内勤務への移動を申し入れ受け入れて貰う。

国内勤務は海外生活とのギャップ（カルチャーショック）が思いのほか大きく、家族共々苦労したが海外留学を試みたチャレンジ精神は国内勤務でも衰えることなく新規分野の開発業務を中心に邁進。子会社・関連会社・外資等を経て今日に至る。

これまでの人生を振り返ってみると無謀とも思える海外留学経験のお陰で独立心を養い、妥協の無い人生を送る一方、協調性に欠ける自分勝手な人生ではなかったかと反省もある。

今は、これまでの海外・国内の経験を地元の発展に少しでも役立てればと「みなと横浜改造市民会議」で活動中。

### 3. 解説：都市を探る：スマートシティ-アジア・太平洋における事例 4 メルボルン 小畑きいち Japa 理事

#### ■メルボルン Melbourne（オーストラリア）

メルボルンが存在するビクトリア州は、オーストラリアで最も年間降水量が多く温暖湿潤な州である。この降水量の多さと土壌の良さから、ビクトリア州は「ガーデンステート」と称され親しまれている。



その中であって、州都メルボルン市は土地の19%が緑地となっており、緑が多い都市である。人口は507.8万人（2019年）でオーストラリア第二の都市である。メルボルンは住みやすいまちづくりを目指して、公共空間、緑地整備などの施策を進めた結果、「最も住みやすい都市」として世界的に評価されている。

また、オーストラリアでは、2016年に、「スマートシティ計画」が策定され、政府、企業、地域社会の連携によるスマートシティ開発の基本的な方向性が示され、イノベーションの促進や雇用の創出により、豊かで住みやすい都市を目指し、スマート投資、スマート政策、スマート技術の3本の柱によって構想計画している。この指針に沿って、各都市はスマート化を推進している。

その「スマートシティ計画」構想の骨子は、以下の通り。

- ・スマート投資
  - 長期的な経済成長や就業機会を生み出すプロジェクトを優先させる
  - 民間セクターと協業して資金調達をし、目玉となるインフラプロジェクトに投資する
  - 資金提供等を通じ、計画、開発など早期の段階から重要なインフラプロジェクトに関与する
- ・スマート政策
  - 都市協力協定（シティ・ディール）を通じて、政府や自治体が連携して計画を実行する
  - 州および地域横断的な規制改革を主導する
  - スマートシティプラン、特に都市協力協定の成果を測定する
- ・スマート技術
  - 課題解決の手法としてデジタルソリューションズを優先させる
  - ビックデータを州政府などへ提供する
  - エネルギー効率化技術を活用する

メルボルン市は、2017年3月に「Plan Melbourne 2017-2050」（長期都市計画マスタープラン）を発表し、メルボルン市のまちづくりにおける今後の成長分野や方向性を示している。その計画では、20分以内にアクセス可能な公共施設サービスの数、公共交通機関及び公共空間の利便性などを重要指標としており、下図のように示している。

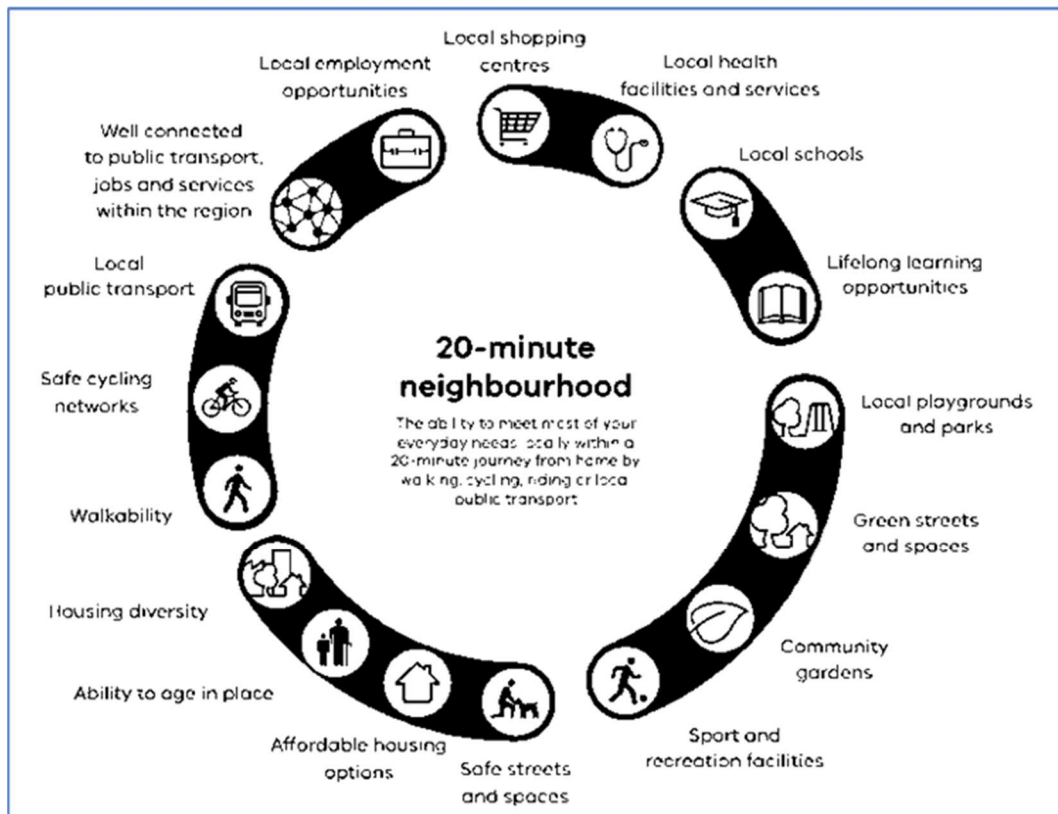


図 メルボルン市が目指す「20分生活圏」構想 Source: plan melbourne.vic.gov.au

メルボルンは2050年までに人口が800万人に達すると予測されている大都市にもかかわらず、コンパクトシティ政策を掲げ、「都市部において、人口過密によって生じるリスクを避け、住民の住みやすさの向上と、都市経営の効率化を図る」とスローガンを掲げている。

OECDが2012年に発表した「コンパクトシティ政策：世界5都市のケーススタディと国別比較」(Compact City Policies: A Comparative Assessment)では、メルボルン、バンクーバー、パリ、富山、ポートランドの5都市がコンパクトシティ政策の先進都市として取り上げられている。メルボルンではその計画の核構想として、ポートランドと同様に「20分生活圏」を目指している。

### ■まちづくりにおけるデータ活用

メルボルン市は、市内に歩行通行量センサーを設置し、歩行通行量の移動情報データの収集記録を開始し、天候やイベント情報、交通ネットワークなどのリアルタイムの情報データを基に歩行通行量の移動傾向を分析し情報提供している。そして都市の歩行通行量・交通パターンをモデル化して、都市計画及び政策に活用している。

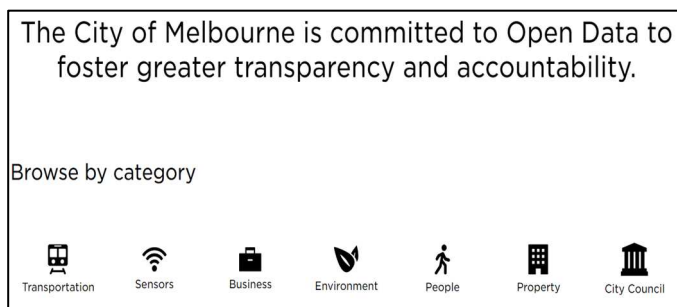
「Plan Melbourne 2017-2050」において、「20分生活圏」の実現のために収集したデータである歩行通行量分析に基づく土地利用の多様化及び公共交通サービスの充実化に取り組みにより都市生活の利便性向上を目指している。そして、公共サービスへの利用性が高いまちづくりを目指している。自転車や公共交通機関の利便性を向上させるために、データ活用によって駐輪施設や公共交通機関の充実化にも取り組んでいる。



各公共交通機関の接続を円滑にし、地下鉄・トラムのネットワークの構築及び自転車利用を促進するにインフラ整備にも役立っている。交通渋滞を緩和する交通制御システムも導入し、道路建設などにもデータを活用している。このようなデータ活用によってメルボルンのインフラ整備のコスト削減と住民のQOL（生活の質）の向上を目指して効率的な都市経営を目指としている。

メルボルンはオープンデータセットを公開している。土地利用と雇用に関する国勢調査（CLUE）、人口と雇用の予測、歩行通行量、駐車場、気候データなどと街頭IoTセンサーから収集の情報データなど提供を開始している。オープンデータプラットフォームでは、さまざま行政関係データにアクセス可能とし、約200セットの情報データを公開している。

また、透明性を高め、公共サービスを向上させ、新しい経済的および社会的取り組みを支援することを目的として、オープンデータは交通、街頭センサー、ビジネス、環境、人々、資産、市議会など6分野において公開している。受け入れデータフォーマットは、CSV, comma separated file、TXT, plain text file、XML, type of open data format、JSON、JavaScript Object Notation、Standard Interchange Format、Data Interchange Format、Open Document Format.>などとしている。下図に参考事例を示す。



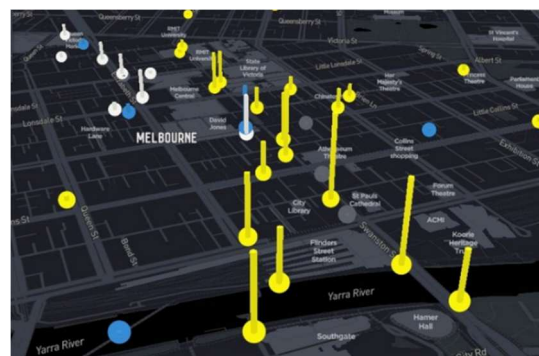
City of Melbourne Open data ホームページ



都市開発モデル図例



夏季のCool Map ガイド例



歩行通行量の「見える化」Map 例

【参考・引用】

- ・堤 純 「メルボルンにおけるコンパクトシティ政策と課題」 2022
- ・日立評論 「進化するオーストラリアの鉄道インフラ」 2018
- ・City of Melbourne 「Melbourne as a smart city 2023」
- ・City of Melbourne 「Plan Melbourne 2017-2050」
- ・Matthys Levy 「Engineering the City」 Chicago Review Press 2000

#### 4. 関連情報：「時代環境」「COVID-19」「地方創生」「社会的孤立・孤独」

[時代環境] <https://japa-fellowlink.wixsite.com/current-times>

- ▼都市部の緑地、平均-3°Cの効果 冷却能力が高い都市は 10 位まで全部アメリカ クラウディア・カルアナ (SciDev.Net ライター) 2024 年 09 月 25 日 事業構想 ※『SciDev.Net』に 2024 年 9 月 5 日付で掲載された記事 <https://tinyurl.com/24ohxdo2>
- ▼7 割が「日本人はイノベーションに消極的」と回答 実際に 8 割が行動せず——G's ACADEMY 調査 2024/09/05 12:00 BizZine <https://bizzine.jp/article/detail/10810>
- ▼独身者データと既婚者の振り返りデータを用いた結婚の決定要因に関する経済分析 鈴木亘 (学習院大学教授) 小島宗一郎 (内閣府経済社会総合研究所) No. 768/July 2024 日本労働研究雑誌 独法労働政策研究・研修機構 <https://tinyurl.com/2xsbv734>

[COVID-19] <https://japa-fellowlink.wixsite.com/covid-19>

- ▼新型コロナ定期接種 レプリコンなどワクチン 5 製品了承 厚労省 2024 年 9 月 20 日 5 時 30 分 NHK <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240920/k10014586381000.html>
- ▼新型コロナウイルス、中国の市場起源説に新たな証拠 新研究 2024 年 9 月 20 日 18:26 発信地：パリ/フランス AFP BB News <https://www.afpbb.com/articles/-/3539718>
- ▼8 月の新型コロナ破たんは 235 件 高水準続く 2024/09/02 東京商工リサーチ [https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198889\\_1527.html](https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198889_1527.html)

[地方創生] <https://japa-fellowlink.wixsite.com/local-value-creation>

- ▼人口減少下での 100 年後の日本を考える 地域、都市、家族のゆくえ 京都大学経済研究所 森知也 20240904 外部有識者等による研究所内講演会 財務省 財務総合政策研究所 <https://www.mof.go.jp/pri/research/seminar/fy2024/lm20240904.pdf>
- ▼日本の農地をどうするのか？ 2024.09.09 キャノングローバル戦略研究所 ※農業経営者 (2024 年 9 月 15 日発行) に掲載 [https://cigs.canon/article/20240909\\_8319.html](https://cigs.canon/article/20240909_8319.html)
- ▼非営利法人により村内経済を循環。「住み続けたい村づくり」を通して雇用を創出——奈良県 川上村 辰巳龍三氏・三宅正記氏 2024 年 09 月 02 日 リクルートワークス研究所 <https://www.works-i.com/research/project/turningpoint/locality/detail003.html>

[社会的孤立・孤独] <https://japa-fellowlink.wixsite.com/social-isolation>

- ▼<最も孤独感が強いのは 20 代>子ども時代を“置き去り”にした若者たちが増える理由 駒澤大学総合教育研究部・萩原建次郎教授インタビュー 2024 年 9 月 27 日 Wedge ONLINE <https://tinyurl.com/2c8vcvbv>
- ▼<注目>孤独化する中高年男性の共通点、処方箋は「おはよう」「ありがとう」を言い合える コミュニティーを増やすこと 若月滯子 2024 年 9 月 25 日 Wedge ONLINE <https://tinyurl.com/28b826e3>
- ▼社会的孤立で記憶力は低下する、孤立していなくても「孤独感」で衰える【最新研究】 2024 年 9 月 6 日 (金) 11 時 15 分 Newsweek <https://tinyurl.com/288ctnoc>



## 5. 読者の声

### [ 読者の声 ] 里見八犬伝にみる武士道 (作詞・作曲家 高橋育郎)

里見八犬伝にみる武士道と題してお話させていただきます。

きっかけは、平成 25 年 10 月 19 日 千葉市文化センターにて行われた劇団影法師による大型人形劇ミュージカル「里見八犬伝」を、館山市の里見香華先生から案内を頂きみさせていただいたの感想です。

ジェームス三木の脚本演出によるこのミュージカルは、新しい解釈によって構成されていました。犬の八房が、人間になっていたところなどです。

舞の幕には「仁、義、礼、智、忠、信、孝、悌」の八文字が浮かびあがっています。これを見た私は「これは武士道だ」と思いました。

ところで私が里見八犬伝を知ったのは、昭和 19 年 国民学校 4 年生でした。

戦時中のことで、あの頃はけっこう、ゆとり教育でした。先生が本を読んでくれたり、紙芝居を見せたり、歌をうたったりといまでは、考えられないことでした。

実は担任がこのお話のファンで、とにかく大長編ですから全部とは行きませんが、好きな場面だけを読んでくれたのです。顔をまっかにして力をこめて読んでいたのが印象的でした。

25 年ほど前には NHK テレビで人形劇が連続して、二年間放送され、私はときどきみました。とにかくこの物語は人気を保っていて、舞台に映画にと、ほとんど間を置くことなく演じられていますね。

さて、武士道といえば、とっさに思い浮かぶのは新渡戸稲造の武士道です。

その話はあとにしますが、原作者の滝沢馬琴は「水滸伝」や「三国志」などをモデルにしているとされています。でも私はもっと身近な日本のお伽噺「桃太郎」が原点にあったと思われました。桃太郎が鬼退治に出かける時、犬、猿、雉がお伴になります。そして団結して鬼に立ち向かいます。勧善懲悪のお話ですね。

八犬伝と共通するところです。犬は仁、猿は知恵、雉は勇気を表します。すなわち智仁勇です。八犬伝には勇の文字はありません。ですが勇は八犬士が共通に持ちあわせています。悪に立ち向かうには勇気が必要だからです。勇は共通事項ですから、除いたものと思います。

この智仁勇は儒学の三徳といわれ「智の人は惑わず。仁の人は憂えず。勇の人は恐れぬ」と云われて、孔子は大いなる徳であるといっています。

また、孫子は兵法の中で、將軍は智仁勇信敵の五条件を満たした人物でなければならないといっています。そして第一は智で「勝算なければ戦うなかれ」といっています。桃太郎は勝算があつて鬼が島を攻めたわけです。

また歌舞伎で有名な勧進帳の安宅関は、智は弁慶、仁は富樫、勇は義経といわれています。馬琴は当然こうした話は知っていたでしょうから、これらはヒントにしていると思います。ただこの三文字では、大長編小説には、物足りません。そこで、馬琴は武士道の持つ徳をもっと幅広いもの、三徳でなく八徳に拡大してスケールの大きなドラマに仕上げたものと思われま

それでは武士道はいつ発生し、どのように進化を遂げたのか、武士階級が確立するに至る歴史を見て行きます。

2012年、NHKの大河ドラマで「平清盛」が放送されました。清盛の誕生と成長の物語ですが、清盛が幼少時の平家は貴族の用心棒にすぎなかったのです。自分たちを番犬とさげすんでいました。桓武天皇を祖に仰ぎながらも、清盛はこの鬱積した身分を何とかして貴族に近付け追い越そうと並はずれた努力を重ねて、権力を身につけていきました。要するに政治的発言力を持つまでに至り、権力（太政大臣）の座についたとき、武士を捨て貴族になってしまいました。その機を突いて立ちあがったのが源頼朝でした。彼は鎌倉を根拠地とし、平家を打倒し、鎌倉幕府を開いて、武士の政権を打ち立て、封建制度を確立しました。

武士は刀や弓矢といった武器を常に持ち歩き使いこなします。したがってこれら武器の使い方を誤れば、人を無暗に殺傷してしまいます。そこで、十分な管理を徹底させる。そのため精神性を高めコントロールが働くようにしました。

ここに武士の心得が生まれ、高度に磨かれていきました。[平成26年(2014年)2月15日 記]

## 6. 連携団体及び Japa からのご案内

### ▼Japa の会員募集

Japa は、会員(個人：正会員・一般会員)と連携団体の方々の参加と協働により活動しています。

Japa は、随時、会員[正会員、一般会員]を随時募集しています。申込みをお待ちしています。

正会員：入会金1万円、年会費1万円 一般会員：年会費3千円

入会案内の詳細 <https://www.japa.fellowlink.jp/admission>

## 7. つぶやき (編集後記に代えて)

大谷翔平が松井のホームランを超え、イチローの盗塁を超え、未踏の道へ。相撲界では、横綱を狙える日本人の大の里が最速で大関に昇進した。将棋界でも、藤井聡太「八冠」から、同学年の伊藤匠七段が「叡王」を奪取した。政界も党首が交代した。衆議院選挙で議員も替わりそうだ。時代が動いていることを実感する。予定調和的ではない VUCA 時代は PDCA ではなく OODA 的思考、アジャイル的対応が求められるのだが、世の中の仕組みはなかなか切り替わらない、・・・。



専門家個人が専門家として  
居場所を得て活躍できる社会づくりをめざして

問合せ・入会申込等連絡先：[info@japa.fellowlink.co.jp](mailto:info@japa.fellowlink.co.jp)  
編集発行人：Japa日本専門家活動協会 代表理事 芝原靖典  
発行元：Japa日本専門家活動協会 <https://japa-fellowlink.wixsite.com/japa>  
Copyright © 2024 Japa日本専門家活動協会